



紹介者

吉田 浩一郎

クラウドワークス
取締役社長 兼 CEO

須田 将啓

エニグモ
取締役 最高経営責任者



メンタルブロック

南米アマゾンのジャングルレースをご存じだろうか。

7日間かけて気温40度以上の地図の無い密林・アマゾンに254km走り続けるクレイジーなレースだ。事前に、毒のある生物や食べたら危ない果物のレクチャーを受ける。

コースはとにかく危険だらけ。ジャガーゾーンと呼ばれるジャガー生息地を通ることもあれば、タランチュラやアナコンダと遭遇することもある。

日没が近づいてくると、道が分からなくなる。補給地点にたどり着くまで水もない。暗闇から獣の音が聞こえてくる。このまま迷い続けたら死ぬ。精神的にギリギリに追い込まれ、心臓がバクバクする。

真夜中には、疲労は限界を超え、何も考えられず、ただ呆然と歩くのみだった。

そんなときに、地平線の先に、小さい光が揺れているのが見えた。誰か他のランナーのヘッドライトだ。あそこに誰がいる！ 人とつながる喜びがこんなに大きいなんて、涙が出るぐらいうれしかった。豆粒のような光でも、それが希望となり、最後までたどり着く原動力となった。ゴール後のカップヌードルは人生最高の味だった。

ジャングルレースは過酷だったが、なんとかゴールできた。やる前は無謀に思えても、やってみると意外とできることは多い。起業もそうだ。何かチャレンジをするときに「できない」「無理だ」といった否定的な思い込みを持って、行動を躊躇してしまうことを「メンタルブロック」と呼ぶ。

もちろん簡単ではない。起業もジャングルも困難が待ち受けている。困難を超えたと思ったら、また何かがある。それでも小さな希望を見つけて、諦めなければゴールにたどり着ける。メンタルブロックさえ外せば、何でもできる。

エニグモはBUYMAというマーケットプレイスを運営し、世界展開に挑戦している。いつかジャングルじゃない方のアマゾン、そう世界最大のマーケットプレイス・Amazonを目指したい。無理だろうか？ 限界を決めてはいけない。メンタルブロックさえ外して、踏み出せばできるはずだ。これが私のアマゾンレースの本当のゴールかもしれない。

▶▶ 次回リレートーク

白石 徳生

ベネフィット・ワン
取締役社長